

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンタースクラブ 放課後等デイサービスリオ			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 10日		～	令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 22日		～	令和8年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 16日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員配置を適切に行っている。	・お子さまの実態や年齢を考慮したクラス分けを行い、活動内容や人数に応じた職員配置を行っている。また、お子さまが十分に活動に参加できるよう、クラスごとに環境設定や活動時間の調整を行っている。さらに、お子さまの情緒面に配慮しながら、必要に応じて個別で職員と個別にやりとりする時間を十分に設けられているよう職員配置に配慮してまいります。	・今後もお子さまが安心して通えるよう、お子さまの情緒面に配慮しながら信頼関係を築けるよう、必要に応じて個別で職員と個別にやりとりする時間を十分に設けられるよう職員配置に配慮してまいります。
2	・定期的に保護者と面談の機会を設けている。	・個別相談や療育参観の期間をそれぞれ年2回設けています。また、必要に応じて個別相談を行い、子育てに関する悩みを解消できるよう努めています。	・継続して個別相談や療育参観の機会を設けながら、お子さまの療育での様子を知ってもらうよう努めます。また、ご家庭での子育てに関する悩みを寄り添いながら解消できるよう、職員も専門性を高められるよう努め、適切な助言を行えるようにします。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・親子ふれあい会については、参加希望者の広がりが見られない。	・「親子で参加してみたい」という魅力的な内容に至っていない。また、茶話会形式での保護者同士の交流は苦手な保護者いる。さらに母親の参加が多く、父親だけでは参加しづらい家庭もある。	・親子ふれあい会では、親子で楽しく参加できるような内容を充実させていく。茶話会だけでなく父親も参加しやすいような親子での園外療育などを検討し、体験活動の中で保護者同士が交流を図れるような内容を企画していく。
2	・保護者向けのペアレント・プログラムの参加者が少ない。	・複数の保護者から参加したいと要望はいただいたが、平日午前中の6回コースでの開催となり、継続して参加できる保護者が少なかつたと考えられる。	・保護者が参加しやすい開催時期や時間帯を設定しながら、気軽に参加できるよう単発的な子育てセミナーの開催を検討していく。
3			